

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「パーキンソン病の診断・治療におけるバイオマーカーの検討」へご協力をお願い

—2008年04月01日～2026年03月31日までに当科において精査・治療を受けられた方へ—

研究機関名 鈴鹿回生病院 脳神経内科

研究責任者：賀川賢

研究分担者：三重大学医学部附属病院 新堂晃大、富本秀和、松浦慶太、石川英洋、中村直子、宇都宮貴哉、西垣明哲、梶川博之

個人情報管理者：橘径

1. 研究の概要

1) 研究の意義

パーキンソン病との関連が強い脳MRIでの検査所見や診療録、診察所見、血液検体所見との相関を検討し、詳しく解析することでパーキンソン病病勢評価の開発ができ、早期の診断および治療選択に繋がる可能性があります。

2) 研究の目的

高齢化社会が進む我が国においてパーキンソン病患者は年々増加しており、医療的にも社会的にもとても大きな問題になっております。パーキンソン病は黒質神経細胞の変性により神経細胞終末からのドパミン分泌が減少する神経変性疾患であり、手足の振るえや筋肉のこわばり、動作の緩慢さ等のパーキンソニズムという症状を呈します。パーキンソニズムを呈する疾患はパーキンソン病以外にもあり多系統萎縮症や進行性核上性麻痺といった疾患が挙げられます。通常、脳MRIや核医学検査を用いてパーキンソニズムの精査や診断を行います。他のパーキンソニズムを呈する疾患のように脳の一部が病的にどんどん萎縮するといった変化がパーキンソン病には原則的に見られないため、症状と一致したパーキンソン病自体の病勢評価ができる検査が少ない状況です。初期からの診断精度をより高め、病勢が他覚的に評価でき治療選択に繋げる事ができれば、本人の生活のみならず家族に対しても有益である可能性があります。今回の研究では、脳MRIなどの画像検査および血液検査、診療録、診察所見を詳細に検討し、パーキンソン病の病勢評価や治療選択に有用なバイオマーカーを発見する事が目標です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2008年4月1日から2026年3月31日までの間に、三重大学医学部附属病院脳神経内科、鈴鹿回生病院神経内科で外来もしくは入院で精査治療を行わせて頂いたパーキンソン病の患者様が対象です。また、疾患コントロール群としまして、同時期に他の神経変性疾患、多発性硬化症、視神経脊髄炎などの診断を受けた患者様の中で頭部MRIを施行させていただいた患者様も対象となります。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2027年3月31日

3) 研究方法

2008年4月1日から2026年3月31日までの間に、三重大学医学部附属病院の脳神経内科、鈴鹿回生病院の神経内科で神経診察、血液検査、脳MRIによる検査を行っていただいた方を対象に、研究者が診療情報をもとに後方視的（過去にさかのぼり、調査をする方法）に診療録から情報を集めます。

4) 使用する試料の項目

本研究では、カルテ情報を抽出し使用させていただきます。

5) 使用する情報の項目

本研究に使用する情報としまして、カルテから以下の情報を抽出し、使用させていただきます。

- ・性別、年齢、併存疾患、既往歴、服薬歴、喫煙歴、飲酒歴、症状
- ・治療内容、血液検査、尿検査、頭部CT、脳MRI/MRA検査、MIBG心筋シンチグラフィ、脳血流シンチグラフィ、ダットスキャン、血圧、脈拍、呼吸数、一般身体所見、神経学的所見、看護記録、リハビリテーション記録などのデータ

6) 情報の保存

本研究に使用した情報は研究の中止または研究終了後5年間、三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学教室にて保存をさせていただきます。電子情報の場合はパスワードなどで制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な状態で保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際には、倫理委員会にて承認を得たのちにさせていただきます。

7) 情報の保護

本研究に使用する情報は、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除して使用します。また情報が漏洩しないよう、プライバシーの保護には細心の注意を払います

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、担当者にお尋ねください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

9) 研究資金源

本研究は三重大学医学部神経病態内科学 奨学寄附金（企業以外）を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

所属 氏名：鈴鹿回生病院 脳神経内科 賀川賢

電話 059-375-1212(代) ファックス：059-375-1717(代)

または

所属 氏名：三重大学医学部附属病院 脳神経内科 松山裕文

電話：(平日：9時30分～17時00分) ファックス：059-231-5082